

取扱説明書



Q-80

Bluetoothイヤホン

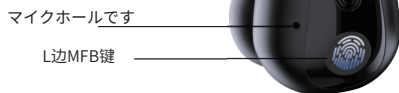
Bluetoothイヤホンパラメータ：

1. Bluetoothプロトコル：HSP 1.2、HFP 1.6、A2DP1.3、AVRCP 1.6、D11.3
2. 定格電圧：3.7
3. Bluetoothバージョン：5.3
4. 周波数：2.4 G
5. 電力量表示：サポート
6. 伝送距離：10メートル
7. 歌を聴く／通話時間：約3～8時間
8. 待機時間：約200時間
9. イヤホン充電時間：約1時間
10. 充電室時間：約2時間

注：製品パラメータは機種、使用方法、環境などによって異なります。

11. マイクを使ってアシスタントと対話
両手が使えて作業ルーティーンが変わります

機能ボタンです



キーの説明

1. 初めて使用する場合は、充電器からイヤホンを取り出します。
イヤホンの電源が自動的に入ります。
充電台に戻すとイヤホンの充電が始まり、電源がオフになります。
2. イヤホンを使用しない時、充電器に戻して自動的に電源を切ります。
3. 再生／一時停止：イヤホンのボタンをダブルクリックします。
4. 電話を受ける／切る：イヤホンのボタンをダブルクリックします。
5. 通話拒否：ボタンを2秒長押しします。
6. 前の曲：L辺MFBキーを1秒長押しします。
7. 次の曲：R辺MFBキーを1秒長押しします。
8. 音量調節+：Lサイドを3クリックします。
9. 音量調節-：Rサイドを3クリックします。
10. Siriを起動：ボタンを3回連打します。

ペア接続

イヤホンの電源を入れる方法とペアリング方法？

1. 充電ボックスから電源を入れます
2. イヤホンが自動的にペアリングされます
3. 携帯電話/タブレットの設定を開きます---Bluetoothを開きます---検索します---yyk-q80 ---ペアリング/接続---音楽を再生します。

充電ボックスの機能説明

1. イヤホンを充電ボックスに入れます。イヤホンの電源がオフになり、充電が始まります。
2. イヤホンの充電の時赤いランプはいつも明るくて、青いランプのいつも明るくて充電の倉を満たして灯を消します。
3. 充電ボックスに携帯アダプターを使用して充電してください。パソコンtype-cケーブルを使用することができます。もしくはtype-c対応の充電器で充電します。

安全予防です

高品質のイヤホンですが、寿命を延ばすために、以下の説明を参考にしてください。

1. 高温、高湿、腐食環境から遠ざけていただきます。
2. 本品は衝突、落下、屈曲、浸漬などを防止していただきます。
3. イヤホンや充電台は外さないでください。
4. 本品をずっと過充電させないでください、このように本品の使用寿命を下げます。
5. 不快感や痛みがあれば、使用を中止してください。
6. 規制されたメーカーの認証を受けたdc-5v-1aアダプターを使用します。



Android アクセスポイントでペアリング
近づけて接続、解除が出来ます

…アシスタントメモ Voice — 機能説明書

Music_Assistant



Wireless earphone

1. アプリ概要

音声認識 (STT) を常時待機させながら、話しかけるだけでメモ・リマインダーを記録できるスマートフォン専用のWebアプリ (PWA対応) です。テキスト入力にも対応し、メモ本文中の日時表現を自動検出してリマインダーを設定する機能が特徴です。

対象端末：スマートフォン・タブレットのみ (PHPでUser-Agent判定し、PCはブロック)

ホーム画面に追加してアプリのように利用可能
データはブラウザのlocalStorageおよびサーバーAPI (api.php) の両方に保存され、4ヶ月間保持後は自動整理

2. 画面構成

領域・内容

ヘッダー・アプリ名 / 状態バッジ (STANDBY・聴取中・REC中) / 音量メーター / **メモ入力 / スタンバイタイマー選択 / **SMS・**ブラウザ・**チュートリアル・ヘルプ
各ボタン

左パネル：メモ一覧・認識中のライブ字幕、メモバッファ、保存済みメモのカード一覧、タグフィルター、テキスト入力欄

右パネル：リマインダー・設定済みリマインダー一覧

ショートカットを活用すると文字の入力が楽になります、モバイル下部タブ・「メモ」「リマインダー」「**再開 (マイクフリーズ対策)」の3タブ切替 (900px以下で表示) 900px超の画面では2カラム、900px以下ではタブ切替式のレイアウトになります。

3-1. 常時音声認識

音声メモ機能 (コア機能) Web Speech API (SpeechRecognition) を使い、日本語 (ja-JP) で連続認識を行います。ページ読み込み後は自動でマイクが起動しますが、Android Chromeでは自動起動できないため専用の起動ボタンが表示されます。

STT安定化対策

認識終了 (end) を検知すると自動で再起動
エラー種別ごとに分岐 (no-speech / network / not-allowed / audio-captureなど) し、可能な限り継続動作
25秒間の無発話でウォッチドッグが強制再起動
オフライン→オンライン復帰、タブ非表示→復帰 (Visibility API) でも自動再開
再起動が繰り返し失敗した場合は再開プロンプトを表示し、下部タブの「**再開」ボタンで手動リセットも可能
無音状態が続くとスタンバイへの自動移行カウントダウンを表示

3-2. メモの記録方法

音声で「メモ」と話しかける→メモ入力モードが開始
話した内容がバッファに蓄積され、「保存 / 以上 / 終わり」等で確定・保存

「キャンセル / やめる / クリア」で破棄
下部のテキスト欄に直接入力し「+ 追加」ボタン (またはEnter) でも保存可能

3-3. カテゴリー分類

音声中に含まれるキーワードでカテゴリーを自動判定します。

4. リマインダー機能

メモ本文中の日時表現を自動解析し、該当時刻に通知するリマインダーを自動作成します (カレンダー連携ではなく、テキスト解析のみで完結)。

日付表現：「明日 / 明後日 / 来週〇曜日 / 〇月〇日 (漢数字対応)」
時刻表現：「〇時」「〇時〇分」「〇時半」「午前 / 午後」
日付指定が無く、時刻のみ過去だった場合は自動的に翌日として設定
時刻表現が全く無いメモにはリマインダーは付与されません
各メモのカードにはボタンがあり、手動でリマインダー日時の設定・変更・解除も可能です。
設定時刻になるとアラームオーバーレイが表示され、確認するまで通知が続きます (スタンバイ中でも起動)。

5. メモの編集・削除・共有

操作・方法
編集・メモの**ボタン→編集モーダルでテキスト・カテゴリーを変更 (音声入力での追記も可能)
削除・編集モーダル内の**削除。削除前に確認ダイアログが表示され、誤削除を防止
共有**共有ボタンでOS標準の共有機能 (Web Share API) またはクリップボードコピー
読み上げ・編集モーダル内の**スピーチボタンで単体読み上げ
7. タグフィルター
メモ一覧の上部でカテゴリー別に絞り込み表示ができます

8. スタンバイモード

無操作状態が続く又はタップすると、時計を表示する省電力画面 (スタンバイ) に自動移行します。
画面をタップすると復帰し、自動で音声認識を再開します
リマインダーからも再開をうながす機能がついているので忘れ防止になります。

ヘッダーの***ボタンで、スタンバイ移行までの時間を5段階から選択できます。

- ① 標準モード：40秒
- ② キッチンモード：3分
- ③ ライダーモード：35分
- ④ 無制限 (自動OFFしない)
- ⑤ 即スタンバイ。

移行の10秒前にはカウントダウンバーが表示され、「キャンセル」で移行を止められます。
データーはブラウザー現状に依存しています、キャッシュのクリアでデーターは削除されます、PRO=契約は別

動作環境の制限：本アプリはUser-Agent判定によりPCからのアクセスはブロックされ、スマートフォン・タブレットのみ利用可能です。音声認識はChrome系ブラウザを推奨し、Androidではマイク使用に手動でのボタン操作と権限許可が必要です。

9. 音声コマンド一覧

用途・発話例
メモ開始・メモ / 記録 / memo

保存・保存 / セーブ / 以上 / 終わり

キャンセル・キャンセル / 取り消し / 消去

一時停止・一時停止 / ポーズ

終了 (マイクOFF) ・バイバイ / さようなら / 終了 / 切る
ヘルプ・使い方教えて / ヘルプ / help
ヘルプ検索・調べて / 検索 / コマンド
ヘルプ、検索機能はオプションで、チュートリアル、マニュアルなど、組み込んで

アシスタントとして活躍してくれます。

SMS起動・ショートメール / SMS / メッセージ送信
よく使う相手先を登録できます、これは音声で電話、ショートメール発信、送信に対応して、雨天時などの画面はタッチのストレスから解放してくれます。

ブラウザ起動・ブラウザ / browser

読み上げ制御 (各モーダル内) ・読み上げ / 停止 / 閉じる / 了解